

# 空前豪華 四つ巴

# 紙相撲新聞

第155回本場所  
八～九日目号

編集・発行  
日本紙相撲協会

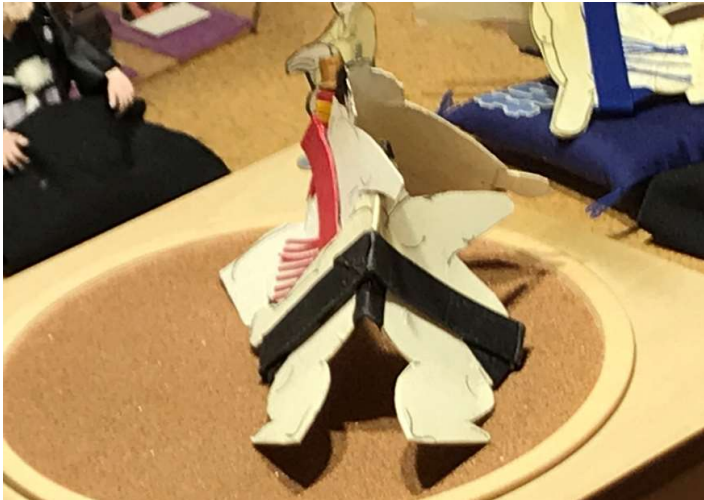
## 千代鈴、春ノ翔、大神楽全勝

### 若ノ嶋1敗で4強総当たり激突

〔第百五十八回本場所八日～九日目〕

今場所の優勝争いは、かつてない紙相撲史上初めてとなる横綱千代鈴、横綱若ノ嶋、横綱春ノ翔、大関大神楽の3横綱1大関による総当たりで優勝を争うことになった。

桜が咲き始めた3月18日に八日目と九日目が開催され、八日目を終えて千代鈴、春ノ翔、大神楽の3人が8戦全勝とし、これを1敗で若ノ嶋が追う展開となって九日目を迎えた。



九日目、4強対決の緒戦は共に全勝で千代鈴と大神楽が激突。大神楽が千代鈴の寄りを凌ぎ喰らい付くが、引き技にばったり。



同じく九日目、全勝春翔と一敗若ノ嶋の横綱対決。優勝のためにはもう負けられない若ノ嶋が力対力の横綱相撲を制して踏み止まった。

九日目はいよいよこの4人の総当たりの取組のスタートが切られ、千代鈴が大神楽に勝ち、若ノ嶋が春ノ翔に勝利。千代鈴が9戦全勝で優勝争いの単独トップに立ち、これを若ノ嶋、春ノ翔、大神楽が1敗で追う展開となり、優勝争いはこの4人に絞られた。

「若ノ嶋、春ノ翔に勝つても、初顔だし、わからぬいよな」と鹿賀乃戸親方。「特に若ノ嶋は初顔に弱いしね」と鹿賀乃戸親方が言う。「そんなことないよ」と否定しながらも若ノ嶋不安げな錦親方。「ただ一人1敗

「若ノ嶋、春ノ翔に勝つても、初顔だし、わからぬいよな」と鹿賀乃戸親方。「特に若ノ嶋は初顔に弱いしね」と鹿賀乃戸親方が言う。「そんなことないよ」と否定しながらも若ノ嶋不安げな錦親方。「ただ一人1敗

全勝 千代鈴  
一敗 若ノ嶋  
春ノ翔  
大神楽



大渡海●(寄り切り)○春ノ翔



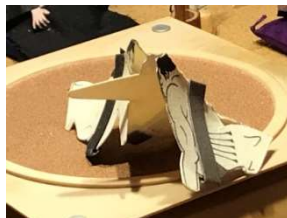
宇治家●(寄り切り)○若ノ嶋

して3人に遅れを取っている。けに絶対負けることがない。よと意気込む。若ノ嶋は宇治家とちり受けを止める。追いつめ押し出しに破った。

まずは、千代鈴と大神楽が対戦。先場所は、大関同士で優勝争いを演じた両者。しかも今場所は8戦全勝同士での対戦となった。対戦成績は千代鈴の5勝1敗だが、今場所の大神楽は尻上がりに調子を上げてきているだけに、まったくわからない。

千代鈴は関脇鹿富士と対戦。鹿富士はここで3勝4敗と大関獲りどころか勝ち越しも危うい状況。「千代鈴は過去に1回勝ったことがあるぞ！」と気泡吹かせるぞ！と一合いを入れたが、千代鈴の前に完敗。鹿賀乃戸親方も「だめだったかあ！」と意気消沈していた。

一人大関で気を吐く大神楽は関脇佐賀ノ海との一番だったが、好調そのままに得意の左差しから早い相撲で全勝を守った。佐賀ノ海は黒雲部屋移籍の場所を飾れず、負け越しが決まってしまった。



大神楽○(寄り切り)●佐賀海



鹿富士●(寄り切り)○千代鈴



結びは横綱同士の若ノ嶋と春ノ翔と一番。過去の対戦成績は春ノ翔の9勝8敗と拮抗した対戦成績。先場所はともに途中休場して対戦がなかった。